隠岐の島にもペット火葬場を

住民有志 設置へ奔走

町が支援、今秋運営目指す

ペット専用の火葬場設置に向けて話し合うNPO法人あにまるサポート隠岐の会員ら＝島根県隠岐の島町西町、隠岐島文化会館

島根県隠岐の島町の住民有志が、ペット専用の火葬場設置に向けて動き出した。町内にはペットの火葬場がなく、飼育数が少ないため民間業者が参入する見込みが薄い。住民は安心して最後まで飼育したいと願い、NPO法人を立ち上げ、今秋にも運営を始めようと準備に奔走する。（鎌田剛）

同町でペットが死んだ場合、飼い主は①土葬②本土で火葬③廃棄物としてごみ処理場に持ち込む―という方法しかない。本土での火葬は手間と費用がかさむことから飼い主は将来に不安を抱く。負担が大きくなる高齢者が飼育を諦めるケースもあるという。

事態を打開しようと住民数人が約2400人の署名を集め、2022年9月定例町議会に火葬炉設置を求める請願を提出し、採択された。一方、町は検討の結果、公設公営は難しいと判断。町環境課の原秀人課長は「山陰両県で公設公営のペット火葬炉はなく、公平性を考えると民的要素が強い」と理由を話し、できる限りの支援をする考えを示す。

住民有志は23年10月、NPO法人「あにまるサポート隠岐」を設立し、民設民営での火葬場設置に向けて動き出した。

火葬場は炉と建屋で約1500万円の総工費を見積もる。町は24年度一般会計当初予算案で工費補助として1千万円を計上し、同町栄町にある斎場の敷地の一部を無償で貸し出す考え。

NPOの会員は20人余りと少なく、残り500万円の資金分担が困難なため、4月にクラウドファンディングを実施。広く浄財を募り、達成できれば10月にも火葬場の運営を始めたいとしている。

理事長の村上操さん(67)＝隠岐の島町津戸＝は、持ち込まれるペットは年間30～50匹と見込み、有料で運営する方針だが「商売にはならない」と予想する。それでも「火葬炉を運営した方がみんなの役に立つと思う。長く続けることができたらうれしい」と話している。

さんいんワイド

「島根の医療守る」県庁

自治医大入学3人決意

自治医科大に入学する（左から）加藤蒼梧さん、亀山大翔さん、川向美琴さん＝松江市殿町、島根県庁

地域医療を担う医師を養成する自治医科大（栃木県下野市）に今春入学する島根県内の学生3人が12日、松江市殿町の県庁を訪れ、松尾紳次副知事に島根の医療を守る決意を語った。

松江南高校出身の亀山大翔さん(19)は「島根県の医療を守るスタートラインに立ててうれしい」と述べ、平田高校出身の加藤蒼梧さん(19)は「人間的にも成長し、地域に貢献できる医師になりたい」と意気込んだ。高校時代に研修で公立邑智病院（島根県邑南町中野）を訪れた経験がある出雲高校出身の川向美琴さん(19)は「実際に現場を見て地域医療に関わりたいと思った」と振り返った。

松尾副知事は「島根の健康と命を守るドクターになることを期待している」と激励した。

自治医科大は離島や中山間地域の医療確保を目的に1972年に47都道府県が共同で設立。幅広い医療分野を担う総合診療医の育成などを行う。現在の県出身在校生は17人。大学卒業後一定期間、県内で勤務すると奨学金の返済が全額免除となる。（原暁）

題字 嘉本 航大（出雲郷小6年）

「生山・霞」が移転候補地

日南病院の検討委答申

中村英明町長（右）に答申書を手渡す谷口晋一委員長＝鳥取県日南町霞、町役場

老朽化が進む鳥取県日南町生山の町立日南病院の将来像を考える「日南病院あり方検討委員会」（委員長・谷口晋一鳥取大医学部教授）が12日、生山、霞両地区にまたがる地域を移転候補地とする答申書を中村英明町長に手渡した。

町と病院は答申を基に具体的な移転場所を決め、2024年度中に新病院の基本計画を策定する。実施設計などを経て27年度に建て替えに着工し、29年度の開業を目指す。

答申書は候補地とした理由として、町中心部で交通の利便性に優れている点を挙げた。病床規模は将来的な人口減少を鑑み、現在の90床から、60～75床の範囲で縮小することを提案。歯科や総合診療を新設し、診療科目を現在の8科目から10科目に増やすことも盛り込んだ。

検討委は昨年6月から今年2月まで5回の会合を重ね、パブリックコメントも踏まえ答申書をまとめた。谷口委員長は「町民の思いや働き手の働きやすさなどを総合的に判断して計画を進めてほしい」と話した。（佐貫公哉）

吉賀町が手話条例

津和野町もきょう制定へ

手話言語条例の制定を記念して記念写真に納まる関係者＝島根県吉賀町六日市、町役場

島根県吉賀町は12日、手話を言語として認め、普及を促進する手話言語条例を制定した。県内自治体では出雲、益田両市に続き3番目。津和野町も13日に制定する見通しで、益田圏域の全3市町で条例が整う。関係者は制定の広がりに期待している。

手話言語条例は、ろう者にとって手話は欠かせない独自の言語であると位置付け、普及を掲げる。2017年に出雲市、20年に益田市が制定している。

吉賀町は、地元の聴覚障害者協会からの要望を受けたほか、全ての障害者が必要な情報を取得し、円滑な意思疎通ができる社会を目指す「障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法」施行を受け、制定を検討。この日の町議会本会議で条例案が全会一致で可決、同日施行された。

益田市と津和野、吉賀両町のろう者でつくる益田市聴覚障害者協会の金井和義会長(71)は「島根県西部から県全体に波及するよう期待したい。手話への理解を広げ、壁をなくしていけたらいい」と喜んだ。

町内には通訳者1人、手話奉仕員養成講座の受講者は30人いる。町は24年度、吉賀高校の生徒を対象にした養成講座を計画する。（藤本ちあき）

共産 候補擁立見送り

鳥取県議補選 三つどもえの構図に

共産党鳥取県委員会（岩永尚之委員長）が12日、鳥取県議2人の辞職と失職に伴う同県議会鳥取市選挙区補欠選挙（被選挙数2）で候補者の擁立を見送り、自主投票にすると発表した。既に立候補表明している日本維新の会公認の1人と無所属の2人の新人3人による三つどもえの構図が固まった。

鳥取市選挙区（定数12、欠員2）で1議席を持つ共産は、議席増や次期衆院選を見据えた党勢拡大を狙い、新人の擁立を目指してきたが、候補者を見つけることができなかった。

同補選は15日告示、24日投開票。立憲民主、国民民主各党と社民党県連が推薦する連合鳥取組織アドバイザーの吉田正氏(65)、維新公認の元鳥取市議の玉木裕一氏(46)、自民党が推薦する猟師でITエンジニアの山本暁子氏(42)が立候補を予定している。

2月29日の立候補予定者説明会に出席した男性は立候補を見送った。（福間崇広）

行政・議会短信

◇吉賀町議会が23議案可決　3月定例島根県吉賀町議会は12日、本会議を開き、総額9300万円を減額する2023年度一般会計補正予算案や、町農業委員会委員の任命案など23議案を原案通り可決、同意した。

同補正予算案の主な歳出は、医療介護従事者住宅の改修工事費2500万円、担い手関連支援事業費2400万円などをそれぞれ減額。一方、除雪委託料3千万円、橋梁（きょうりょう）新設改良補助事業費3千万円を盛り込んだ。

市長の一日

【島根】

◇全名簿は山陰中央新報デジタルで掲載しています。

（12日）

〈松江〉午前、内部協議。県市町村振興協会評議員会。内部協議。午後、同。RubyCitMATSUE2.0に関する懇談会。2023年度全国選抜小学生プログラミング大会審査員特別賞の受賞報告で島根大付属義務教育学校6年の俵恵太さん。内部協議。「市新たな観光財源検討委員会報告書」の提出で、市新たな観光財源検討委員会。

〈出雲〉午前、内部協議。スチームシップの藤山雷太代表取締役。内部協議。午後、農家所得向上を目指した新商品の試食会。内部協議。

〈浜田〉午前、市議会予算決算委員会。

〈益田〉午前、内部協議。美作大学生活科学部社会福祉学科の田中涼講師ら。テラテクノロジーの宮本一成代表取締役。午後、第4期市地域福祉計画審議会。内部協議。第2回市未来の担い手育成コンソーシアム。

〈大田〉終日、内部協議。

〈安来〉岡山市出張中。午前、松江市へ移動。県市町村職員共済組合組合会。同互助会運営委員会。安来市へ移動。午後、米子市へ移動。鳥取大医学部付属病院の武中晃幸病院長。安来市へ移動。内部協議。県中学校英語弁論大会。第一中学校の瀬川茉乃さん、県科学作品展中学校の部賞報告で安来第一中学校の瀬川茉乃さん、犯罪のない安全で安心なまちづくり啓発ポスターコンクール県知事賞受賞報告で同校の仙田一珠さんら、しまね小中学生新聞コンクール最優秀受賞報告で十神小学校の大屋壮太郎さんら。内部協議。

〈江津〉午前、出雲市へ移動。県の山口修平病院事業管理者。江津市へ移動。午後、市議会予算決算委員会。

〈雲南〉午前、内部協議。

〈大田〉午前、内部協議。

〈浜田〉午前、市議会予算決算委員会。午後、同。内部協議。出雲ブランド商品認定式でアイレックの森山信雄代表取締役社長、出雲ブランド商品認定審査会の山崎幸一委員長。午後、カープミラー寄贈でひらたCATVの加藤昇代表取締役会長ら。内部協議。神西湖漁業協同組合の赤木努代表理事組合長、湖陵大敷の中尾瑞枝取締役ら。

〈出雲〉午前、内部協議。出雲ブランド商品認定式でアイレックの森山信雄代表取締役社長、出雲ブランド商品認定審査会の山崎幸一委員長。午後、カープミラー寄贈でひらたCATVの加藤昇代表取締役会長ら。内部協議。神西湖漁業協同組合の赤木努代表理事組合長、湖陵大敷の中尾瑞枝取締役ら。

〈益田〉午前、内部協議。美作大学生活科学部社会福祉学科の田中涼講師ら。テラテクノロジーの宮本一成代表取締役ら。午後、第4期市地域福祉計画審議会。内部協議。第2回市未来の担い手育成コンソーシアム。

〈安来〉終日、内部協議。

〈大田〉午前、内部協議。

〈浜田〉午前、市議会予算決算委員会。午後、同。内部協議。

〈出雲〉午前、内部協議。出雲ブランド商品認定式でアイレックの森山信雄代表取締役社長、出雲ブランド商品認定審査会の山崎幸一委員長。午後、カープミラー寄贈でひらたCATVの加藤昇代表取締役会長ら。内部協議。神西湖漁業協同組合の赤木努代表理事組合長、湖陵大敷の中尾瑞枝取締役ら。

〈益田〉午前、内部協議。美作大学生活科学部社会福祉学科の田中涼講師ら。テラテクノロジーの宮本一成代表取締役ら。午後、第4期市地域福祉計画審議会。内部協議。第2回市未来の担い手育成コンソーシアム。

〈安来〉終日、内部協議。

〈大田〉午前、内部協議。

〈浜田〉午前、市議会予算決算委員会。午後、同。内部協議。

〈出雲〉午前、内部協議。出雲ブランド商品認定式でアイレックの森山信雄代表取締役社長、出雲ブランド商品認定審査会の山崎幸一委員長。午後、カープミラー寄贈でひらたCATVの加藤昇代表取締役会長ら。内部協議。神西湖漁業協同組合の赤木努代表理事組合長、湖陵大敷の中尾瑞枝取締役ら。

〈益田〉午前、内部協議。美作大学生活科学部社会福祉学科の田中涼講師ら。テラテクノロジーの宮本一成代表取締役ら。午後、第4期市地域福祉計画審議会。内部協議。第2回市未来の担い手育成コンソーシアム。

〈安来〉終日、内部協議。

〈大田〉午前、内部協議。

〈浜田〉午前、市議会予算決算委員会。午後、同。内部協議。

〈出雲〉午前、内部協議。出雲ブランド商品認定式でアイレックの森山信雄代表取締役社長、出雲ブランド商品認定審査会の山崎幸一委員長。午後、カープミラー寄贈でひらたCATVの加藤昇代表取締役会長ら。内部協議。神西湖漁業協同組合の赤木努代表理事組合長、湖陵大敷の中尾瑞枝取締役ら。

〈益田〉午前、内部協議。美作大学生活科学部社会福祉学科の田中涼講師ら。テラテクノロジーの宮本一成代表取締役ら。午後、第4期市地域福祉計画審議会。内部協議。第2回市未来の担い手育成コンソーシアム。

人事

◇隠岐広域連合（4月1日付、県や町村などから派遣される職員を除く）

【隠岐広域連合事務局】介護保険課長（隠岐病院地域連携室室長補佐）上野俊之

【隠岐病院】地域連携室長（隠岐広域連合事務局介護保険課長）藤野実▽看護部長（看護部次長）高村浩美▽3階東病棟看護科副師長（3階西病棟看護科師長）藤田美紀▽3階西病棟看護科副師長（3階西病棟看護科師長）加藤真紀子▽4階病棟看護科師長（看護部付看護師長）田尻友子

【診療所】事務長（隠岐病院経営課経営業務係長）野津晶

【消防本部】消防長（消防署長）田中勤▽島前分署長（海士出張所所長）斉藤義幸▽予防課長（予防課長補佐）間瀬純次▽消防署長（警防課長補佐）沢田敏夫▽警防課長（知夫出張所所長）若林隆造

紙面編集・藤原 正司

山陰中央新報社取材網

出雲地区	
本社編集局	0852(32)3320
出雲総局	0853(21)0019
ひらた通信部	0853(27)9941
安来支局	0854(22)2069
雲南支局	0854(42)0062
隠岐支局	08512(2)0356
石見地区	
西部本社	0855(22)0109
益田総局	0856(22)1800
大田支局	0854(84)9065
江津支局	0855(52)2347
川本支局	0855(72)3010
邑南通信部	0855(95)1330
津和野支局	0856(72)1678
鳥取地区	
米子総局	0859(34)5211
鳥取総局	0857(39)1188
境港支局	0859(42)3529

山陰中央新報社会福祉事業団 能登半島地震義援金

（敬称略）

【本社】島根県飲食業生活衛生同業組合（松江市大輪町、小村慎二理事長）50万円▽日十喜の会（雲南市木次町、小村光正代表）2万1842円▽島根県フォークダンス連盟（出雲市）8万円▽島根スイミングスクール鹿島利用者有志（松江市鹿島町）1万5252円▽松江市フォークダンス連盟3万2562円▽久利まちづくりセンター募金箱（大田市久利町）2万円

【出雲総局】藤増ストアー知井宮店・古志店お客様一同（出雲市知井宮町）8万2千円

■お知らせ■義援金は、郵便振替、現金書留で送金していただくか、本社および出先へ直接持参してください。日本赤十字社を通じて被災地に送ります。物資はお受けできません。金額や名前を山陰中央新報に掲載します。匿名希望の方は「匿名希望」と明記してください。振込手数料はご負担をお願いします。3月29日まで受け付けます。

◇現金書留送り先　〒690-8668松江市殿町388、山陰中央新報社会福祉事業団「能登半島地震義援金」係

◇郵便振替　口座番号0120-1072207、加入者名に「山陰中央新報社会福祉事業団」、通信欄に「能登半島地震義援金」と明記してください

◇持参先　山陰中央新報社本社3階（松江市）、西部本社（浜田市）および出雲、鳥取、米子の各総局

◇受付時間　土、日曜、祝日を除く午前10時から午後4時まで

能登半島支援受付先の詳細はこちらから

U35 MESSAGE

島根で働くU35の先輩社員からのメッセージ

ホテル一畑

ホテル一畑 フロント担当

深田 千夏 Chinatsu Fukada　25 Years old

今は窓口業務や宴会時のロビーアテンドなど、ご来館いただいたお客さまを最初にお出迎えする場所で働いています。全国の中で松江を選んでいただくことってすごいことだと思いますし、もっと幅広い方に喜んでいただけるようになりたくて。お客さまに喜んでもらうことがホテルの評判にも、松江の魅力アップにもつながるので、笑顔を大切におもてなしを磨いていきたいです。

お客さまに喜んでもらえる接客が
松江の魅力につながると思うんです

採用情報

企業名　株式会社ホテル一畑
代表名　代表取締役　西村 彦昭
住所　〒690-0852 島根県松江市千鳥町30番地
連絡先　TEL 0852-22-0188
事業内容　ホテル業
従業員数　100名

勤務条件・処遇
勤務時間　シフト制（1日7時間40分）
休日　年間98日
初任給　155,000円～258,200円（一般職）、148,000円～273,200円（調理人）
福利厚生　永年勤続表彰・慶弔見舞金・社員研修旅行など

職場見学など随時受付中

4U35 SHIMANE　これからの島根を担う35歳以下のあなたを応援するプロジェクト
4U=for you U35=under 35 U=Upgrade/Unity/Unearth/Utopia

本プロジェクトでは、これからの島根の未来を担う若者へのインタビュー記事をメインに、広告特集や動画などを新聞紙面、特設ウェブサイトから情報発信します。

プロジェクトサイトはこちら！
ウェブサイトは随時更新していきます
https://www.4U35.jp